

# EKLY REPORT ROTARYCLUBOF hakusanishikawa



がハナー方針「**一歩前進しよう(one step ahead)**」 クラブ基本方針「**この地球を優しさで満たそう・・・未来ある子ども達のために**」

## 白山石川ロータリークラブ

2019年8月22日 No.843

会長:武藤一彦 幹事:織部資子

クラブ会報委員長:永瀬喜子 副委員長:藤本和久 委員 五十嵐隆介・林 哲也・多田 茂

事務局/白山市西新町 159-2 松任産業会館 4階 TEL076-274-2907 FAX076-274-2908

Mail:info@hakusanishikawa-rc.jp HP://www.hakusanishikawa-rc.jp

### ◆会長挨拶 (武藤一彦会長)



8月24日夜8時15分頃に我がロータリークラブの交換留学生である Levi(リヴァイ)さんが成田から小松空港へ来られます。時間の許す方はお出迎えお願い致します。自己紹介からの情報では、いろいろ興味が広い

高校生と思います。当家が最初のホームステイ先ですが、お肉は嫌いでお魚は食べるという事です。鶏肉は大丈夫な様なので少し安心しました。食事・生活習慣やパターンなど大きな違いの生活に慣れて、日本の生活を楽しめる事が出来るよう援助したいと思います。

さて、今年度の白山石川RCの基本方針は「この地球を優しさで満たそう・・・未来ある子ども達のために」です。

今年度プロジェクトのひとつである講演会「パパ、ママ 子育て大変だね」のパンフレットが出来ました。22日昼に白山市公立保育所・幼稚園40カ所の園長の集まりがあるとのことで、大きな掲示用と手渡し用のパンフレットを持って伺いました。総勢40名のうち男性園長は数名です。子育て中の親御さんの大変さ等は、小児科医同様常に親子に接する立場の仕事ですから、共通の気持ちをお持ちと考え、たくさんのご家族に参加して頂くようお願いしました。

### ◆お客様の紹介

元MROアナウンサー八田 静輔(はった しずほ)様  
白山ロータリークラブ 田中 和子(たなか かずこ)様  
白山ロータリークラブ 杉本 和美(すぎもとかずみ)様

### ◆表彰の伝達

R財団 ポールハリス・フェロー 織部 資子 君



### ◆幹事報告 (織部資子 幹事)

- ・8/13 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会よりハイライトよねやま233号が届く  
友愛の広場でご覧ください



### ◆卓話

元MROアナウンサー 八田 静輔氏

『アナウンサーは何故アナウンサーの話し方なのか』



### ◆出席報告 (新陽一郎委員長)

- 出席率: 69.70%
- 出席者: 20名 / 34名
- 出席補填: 3名
- 出席免除者: 1名



- メーキャップ: 8/8 武藤一彦・織部資子・松田和仁・池元ことみ・西川隆司・小柳善裕・多田茂・永瀬喜子・林哲也・藤本和久・新陽一郎・埴岡正稔・西田 直樹: 第2回奉仕プロジェクト準備委員会 8/20 福田裕: 白山ロータリークラブ 8/20 福田裕・埴岡正稔・竹田 佳一・橋本恵子・中嶋満・木村俊夫: 炉辺会合第2班

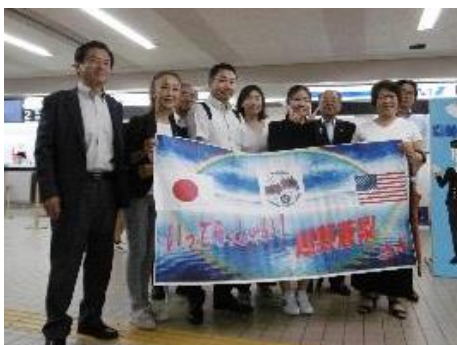
## ◆ニコニコボックスの発表(小柳管理運営委員長)



- ・白山ロータリークラブ 田中 和子様・杉本 和美様：  
久し振りにお邪魔しました。本日は白山ロータリーの仲間の杉本和美さんとお勉強に来ました。どうぞよろしく  
お願い致します。
- ・武藤 一彦会長：八田さん、卓話ありがとうございました。  
私と同じ年で何か安心しました。私も山口百恵さんのと  
なりの中学出身です。よろしくお願いたします。
- ・織部 資子幹事： 八田静穂様、卓話ありがとうございました。  
又、白山RCの田中さん、杉本さんご来訪ありがとう  
ございます。ポールハリスフェロー、ありがとうございます  
ました。
- ・永瀬 喜子： 八田さん、本日は卓話ありがとうございました！  
MROで少しだけ一緒させて頂きましたが、本当に素晴  
らしいアナウンサーでした！本日は実に嬉しいです。  
前島先生、お久しぶりです。お元気な顔を見られて本  
当に嬉しいです！
- ・前島 伸一郎：父の葬儀に際し、弔電をいただきありがと  
うございました。おかげさまで無事、初盆を終えました。  
叙位勲章も頂くことが出来ました。感謝です。
- ・松田 和仁：申し訳ございません。早退します。

**本日合計 10,500円 今年度累計 111,500円**

## ◆越野愛梨さん 交換留学生アメリカに出発



## ーちょっと読んでみてくださいー

### ロータリーソング「奉仕の理想」について

例会のときに歌を歌う風習は、1907年、今から103年前シカゴRCで  
始まりました。「親睦」か「奉仕」かの大論争でぎすぎすしたクラブ  
の雰囲気や和らげようとハリー・ラグラス（5人目の会員）が首頭を  
とって歌い出したのが始まりです。当時は、民謡や当時の流行歌が歌  
われたそうです。下記のロータリーソングは、初めての日本語オリジ  
ナルのロータリーソングです。1935年（昭和10年）5月の第7  
0地区大会（京都）を記念して募集され、当選したのがこの作品です。

第1位は「旅は道づれ」。

第一 作歌 杉村廣太郎（東京） 作曲 吉住小三郎（東京）

旅は道づれ世はなさけ / なさけは人の為ならず / 世は明鏡のやどす  
影 うつす形を偽らず / わがほほえめば / 影も笑む

自分が為した善は、福となって帰ってくる、「最もよく奉仕する者、  
最も多く報いられる」というロータリー・モットーに通じるような内容  
の歌詞のように思います。作曲の一部に盗作があったため後に失格と  
なり、第2位の「奉仕の理想」が、第1位に繰り上げ当選になったそ  
うです。「奉仕の理想」については、後で申し上げることにして、第  
3位の歌を見てみましょう。

第三 作歌 田崎 慎治（神戸） 作曲 早川彌左衛門（名古屋）

1 平和を人の世に植え / 親愛の心はぐくむ / 奉仕こそげにやひ  
としく 仰ぐなる吾等が理想 / ロータリー ロータリー ロ  
ータリー

2 諸種の職業の中より / 選ばれし我等集いて / わが職業の尊き  
を知り / 培はむ奉仕の精神

3 住む国の内外を問わず / とる職業の形かわれど / むつつ  
扶け励みて / ひろめなむ吾等が理想

この歌詞は、現在私たちが理解しているロータリー理念とほとんど  
重なっているように思います。軍国主義が盛んになりつつあった当時  
としては、かなり思い切った平和主義が表明されています。さて、繰  
り上げ当選して1位になった「奉仕の理想」です。

第二 作歌 前田和一郎（京都） 作曲 萩原 英一（東京）

奉仕の理想に / 集いし友よ / 御国に捧げん / 我らの業 / 望むは世  
界の / 久遠の平和 / 永久に栄えよ / 我らのロータリー ロータリー

私は、この歌にずっと違和感を抱いていました。2行目の「御国に  
捧げん」の「御国」が、ロータリーの思想と相容れないと感じたので  
す。戦後死語になったような「御国」は使いたくないと思い、この一  
節を歌うときは、今でも頭の中で「地域に捧げん」とか「社会に捧げ  
ん」と頭の中で置き換え、ロバクしています。実は、この曲を作詞し  
た京都RCの前田さんの原詩は、「御国に捧げん」ではなく、「世界に  
捧げん」だったのです。この「世界に捧げん」を「御国に捧げん」と  
変えなければ当選は無効と宣言したので、前田さんは泣く泣く承諾し  
たのだそうです。「御国」という言葉に変えたのは、英語が敵性語と  
され、米国由来のロータリーに世間の冷たい目が向けられようとして  
いた時代に、ロータリーの組織を守ろうとする苦肉の策だったかも知  
れません。実際、この「奉仕の理想」が発表された昭和10年の5年後に  
は日本のロータリークラブは国際ロータリーを脱退し、解散を余儀なく  
されることになりました。

そうしたロータリー苦難の時代を耐え抜いたこの歌の歴史は尊重し  
なければなりません。私たち21世紀を生きるロータリアンはこの  
歌の「御国」を、「世界」でも「地域」でも「社会」でも自由に置き  
換えて歌ってかまわないと私は思っています。